

# 佐賀県難病支援ネットワーク

**Voice** スタッフの声

悩みや不安、まずは話してみませんか？

「あなたの大切な人を病気で失った経験があります。同じような経験をお持ちの方と話をすることがあります。」

少しでも力になれると...

「病気の辛い時期、お話を聞かせてください。私も同じような経験があります。あなたの経験が、他の患者さんの助けになるかもしれません。一緒に悩みを分かち合ってください。」

スタッフ

- 澤田 治彦
- 山口 真理子
- 前田 美紀
- 三原 工知

「あたたかい場所。」

「佐賀県難病相談・支援センターの活動内容」

「難病相談支援センター」

「難病患者の就労に関するシンポジウム」

「災害時要援護者避難訓練」

「難病サポーターズクラブ JAPAN/ツッチ&マスコットキャラくまさん」

## 事業内容

- 難治性疾患、長期慢性疾患、小児慢性特定疾患などの原因の究明及び治療法の確立を目指すことを推進する事業
- 難治性疾患・長期慢性疾患、小児慢性疾患など及び障害に関する知識の普及啓発に関する事業
- 難治性疾患・長期慢性疾患、小児慢性疾患など及び障害をお持ちの方に対する社会的支援事業
- 難治性疾患・長期慢性疾患、小児慢性疾患など及び障害をお持ちの方並びにその家族に対する相談事業
- 難治性疾患・長期慢性疾患、小児慢性疾患など及び障害をお持ちの方に対する就労支援事業
- 難治性疾患・長期慢性疾患、小児慢性疾患など及び障害をお持ちの方並びにその家族に関する関係団体との連携
- その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

難病サポーターズクラブ JAPAN/ツッチ&マスコットキャラくまさん

災害時要援護者 避難訓練

難病患者の就労に関するシンポジウム



Alain Bonnaure  
アラン・ボノール



水面に映る日本の橋  
(リステル 42.8x54.8cm 10F変形)

若い頃に、フランスの名士アルペール・サロー氏に作品を買上げられたことにより画家を志すことに決め、またサロー氏の強い薦めで名門のパリ国立美術学校(エコール・デ・ボザール)に進みました。

「これまでを振り返ってみると、私の絵の中で、光線の占める位置が時を経ることに重要になってきたと気づくようになりました。私の最初の師は偉大な彫刻家・アンリ・ボスケで、私は彼からデッサン、フォルム、ポリウムを学びました。二番目の師・グロメルからは色彩を愛する心を学び、また自らを自然の中に置くことで空間や光を発見していきました。

それから私は印象派の画家たちに魅了されました。まずセザンヌでした。彼は力強くバランスを取りながら、絵具を混ぜ合わせて光線を描く術を心得ていました。そしてゴッホの人間味あふれる情熱に魅せられ、ターナーからは光線の魔術的な力を発見しました。彼の持つ近代的な視線は、まさに印象主義の先駆者となったのです。モネは私にとって異論の余地のない師です。彼は極めて精密な色彩で一日のある瞬間をキャンバスに捉え、自然を愛情豊かに美しく夢いっばいに描きます。これらの画家に魅了され、季節と光の瞬間の美しさを捉えることが、私の絵の主なテーマとなったのです。」

- 1941年 フランス中部のペリグーに生まれる。
- 1954年 大賞受賞の彫刻家、アンリ・ボスケのアトリエに入る。
- 1955年 「南フランス新聞社」取締役社長のアルペール・サロー氏(※1)に作品を3点買上げられ画家を志す。
- 1958年 パリ国立美術学校に入学。その後、教員免状を得て卒業し、その年ローマ賞(※2)に入選。
- 1965年 デッサンの教授となる。
- 1970年～ 世界各地で展示会を開催。
- 1992年 初来日し、銀座、神戸などで作家招待展を開催。好評を博す。

(※1)ピカソやモジリアニのコレクターでもあり、若きボノールの作品を見て、彼の両親に国立美術学校へ行くことを勧めたフランスの名士。  
(※2)1666年よりフランスにおいて毎年アカデミーが、絵画・彫刻・版画・建築・音楽のためのコンクールを主催し、各部門において最優秀と認められた生徒に、政府の費用でローマのフランス・アカデミーに4年間留学させるための賞。

**特別企画** アラン・ボノール画伯のサイン会が  
会期中、毎日3回  
AM11:00・PM2:00・PM4:00

オリジナルサインカード進呈

- 来場の方にもれなくポストカードをプレゼント！
- アラン・ボノール画伯作品お買い上げの方には、画伯が額の裏面に記念メッセージを書き添えます。

## 佐賀県難病支援ネットワーク チャリティー企画

# 現代国際巨匠絵画展

ピカソ、シャガールから東山魁夷、平山郁夫まで120余点を展観



コレーズの花咲く野原(油彩 10F)

## 特別企画 アラン・ボノール画伯 サイン会開催

会期中、毎日3回開催 (AM11:00・PM2:00・PM4:00)

**会期** 2014年 10月9日(木)～11日(土)  
AM10:30～PM7:00 **入場無料**

**会場** 佐賀市文化会館 イベントホール  
佐賀県佐賀市日の出1丁目21-10

**主催** 佐賀県難病支援ネットワーク絵画展実行委員会  
佐賀県佐賀市神野東2丁目6-10 佐賀県北館 TEL 0952-97-9632

**後援** 佐賀市／佐賀県社会福祉協議会／佐賀県医師会  
佐賀県歯科医師会／佐賀県看護協会  
佐賀県地域婦人連絡協議会／佐賀商工会議所  
佐賀新聞社／西日本新聞社  
読売新聞西部本社／毎日新聞社  
STVサガテレビ／エフエム佐賀／NBCラジオ佐賀

協力 ほんまA! (順不同)

## ごあいさつ

皆様におかれましては、日頃よりNPO法人佐賀県難病支援ネットワークの活動にご支援ご協力をいただき心より感謝申し上げます。

当法人は、「どこにも相談することのできない難病患者・家族の方を支えたい」という目的で平成15年に設立し、ひとりひとりのニーズに応じた支援を行って参りました。

このたび、難病患者や家族に対する普及啓発活動の一環として「現代国際巨匠絵画展」を開催する運びとなりました。

この絵画展には、フランスよりアラン・ボノール画伯に来日いただき、画伯の力作をはじめピカソ・シャガール・東山魁夷・平山郁夫といった方々の作品を約120点一堂に展示するとともに、アラン・ボノール画伯のサイン会も開催されます。

皆様には、世界の名画に触れていただき、心が満たされるひとときをお過ごしいただければ幸いです。

また、障がいをお持ちの方が作成した授産品の販売も重ねて行いますので、御多忙かと存じますが、皆様お誘いあわせの上、お気軽にお越しいただきますようご案内申し上げます。

なお、この絵画展の収益金につきましては、難病をお持ちの患者への支援と法人の福祉活動充実のため、大切に活用させていただきます。

また、収益金の一部は、災害等で被災された方への義援金として活用させていただきます。

平成26年9月吉日

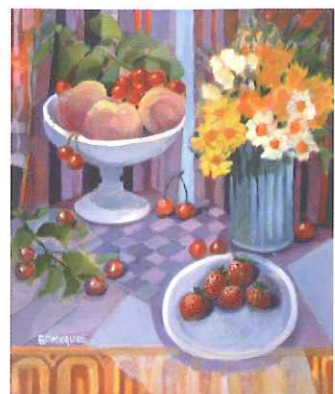
NPO法人佐賀県難病支援ネットワーク  
チャリティー絵画展実行委員会  
実行委員長 三原 睦子



印象派を現代に受け継いだ画家

*Alain Bonnaure*

アラン・ボノール



花と赤い果実(油彩 08F)



バラ色の花々(油彩 05F)



花咲く小さなホテル(油彩 12F)



夏の平野を見下ろす眺め(油彩 08F)



小川のほとり(油彩 15P)



リアルト橋(油彩 04F)



ヴァカンス(油彩 30F)



9月の庭(油彩 10P)



プロヴァンスにて(パステル 45.5x54.7cm 10F)



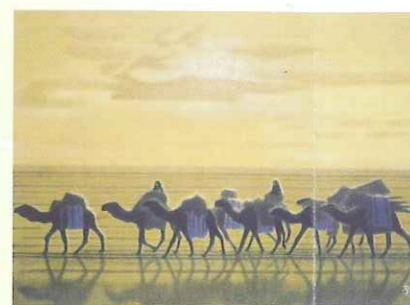
プロヴァンスのひまわりとラヴェンダー畑(油彩 12F)

世界の一流作家たちの力作を一堂に集めたチャリティー絵画展

あなたに心からの感動と安らぎを...



東山魁夷/春静(木版画)



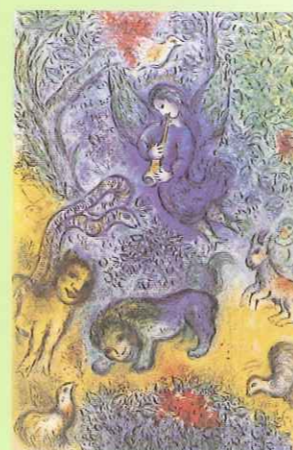
平山郁夫/流沙浄土変(巧藝画)



森 清範/一期一会(真筆)



原 宏之/朝霧の大正池(岩彩)



マルクシャガール/魔笛(ポスター)  
(リトポスター)



ピカソ/人語喜劇III(リトグラフ)



祐子/天空の森(油彩)



マッケンジー・ソープ/サマーラブ(シクレー)



ミヒャエルクレーデンホーフ=カレルギー  
コスモスとハチ(水彩)



丁 紹光/白馬(シルクスクリーン)



オリヴィエトラモニー/初めての夜(油彩、アクリル他)



松本恵子/ノートルダムの雪化粧(水彩)

主な出品作家 ピカソ/シャガール/ミロ/ユトリロ/ローランサン/ビュッフェ/スベンス/丁 紹光/ボナフェ/マッケンジー・ソープ  
藤田 嗣治/東山 魁夷/平山 郁夫/小倉 遊亀/中島 千波/伊藤 哲/原 宏之/森清範 他

展示作品はご予約承ります。掲載作品ご成約済の際はご容赦ください。その他、多数の作品をご用意してお待ちしています。お気軽に、ご来場、ご鑑賞ください。